

秋号

あした

てんきになあれ

あまやどりにも
秋がきたよ!



病児保育あまやどり

住所 草牟田2丁目-16-8

予約TEL 090-1926-4156

子どもの急性胃腸炎・・・嘔吐、下痢の症状への対応

子どもの嘔吐下痢では、脱水への対応が大切です。
まだ脱水ではない？ごく軽度の脱水であれば必ずしも経口補水液(OS-1)でなくてもリンゴジュースなどでも効果はみられます。(2歳未満は経口補水(OS-1)が好ましい)

脱水かな？とおもったら。。

- ・おしっこは出ているかな？減っていないかな？
- ・のどが渇いている？水は飲めている
- ・口や舌が潤っていない。涙が出ない。少ない？(泣く元気がない?)



自宅で速やかに経口補水(OS-1)を始めることが脱水の進行を防ぎます

失われた水分を少量ずつ、2歳児以下はスプーンを使って1～2分おきに、年長児はコップでもOK
嘔吐がある場合は、5～10分待ってさらにゆっくり与えるようにしましょう。
嘔吐がなくなれば、味噌汁の上澄み、塩で味付けされた野菜スープもいいでしょう。

よくあるQ&A

- Q 急性胃腸炎の時、母乳はあたえていいの？
- A. 経口補水している時でも母乳も与えている方が重度の脱水を起こしにくいです。むしろ積極的に与えるほうがよいでしょう。
- Q 急性胃腸炎のミルクや食事は早期に開始しているの？ミルクは薄めたほうがいいのか？
- A. 脱水がなくなってきたら・・・摂取できるようであればミルクや食事は早期に開始しましょう。通常の食事でもかまいません。**食事制限は治りを早くするものではなく、むしろ減少した体重の回復を遅らせてしまう可能性があります。**ミルクを薄めることもおすすめしません。体重増加をおくらせます。
- Q. 下痢止めは使用しないでいいの？
- A. 副作用の可能性が大きく(腸閉塞など)使うべきではないとなっています。

小児急性胃腸炎診療ガイドラインより 抜粋

